

PosReg (Ver 2.58以降) 追加機能説明書

■ 1. 概要

- ・複数の消費税率に対応しました。
- ・ポイントの付与やポイントの使用機能を追加しました。
- ・予約や後会計の登録を保存し、随時追加登録や会計ができるようにしました。
- ・同じ登録内容を整理する機能や、登録後に個数を変更できる機能を追加しました。
- ・カード決済端末に金額を送信できるようにしました。
- ・タッチパネルに対応しました。
- ・レシート用紙58mm幅のロールペーパーに対応しました。
- ・サブディスプレイウインドウ（拡張画面）とエプソン社の特定のカスタマーディスプレイに対応しました。
- ・部門、PLUや取引先のインポートと、部門、PLU、取引先やレシートのエクスポートに対応しました。
- ・サンプルに、マイクロソフト社のエクセルから、取引先と商品を参照する設定例を追加しました。

■ 2. 複数の消費税率に対応

最多で4種類の消費税率に対応できます。

通常は、設定した税率選択に応じた消費税率を用いますが、

減税取引を開始すると、基本消費税率を選択している部門やPLUは、消費税率1に切り替わります。

※消費税率1が0のときは、減税取引を開始できません。

○旧バージョンからの更新内容

- ・全体設定で、既存の消費税率を基本消費税率とし、新たに消費税率1～3を追加しました。
- ・部門設定、PLU設定とODBCリンクの商品フィールドに、税率選択を追加しました。
- ・固定合計器設定に、課税額1～3と税額1～3を追加しました。
- ・取引3設定に減税（ファンクションコード：84、デフォルトキー：F11）を追加しました。

■ 3. ポイントの付与やポイントの使用機能

店舗独自で、ポイント販売（プリペイド）や売上の一部をポイント付与し、会計でポイントを使用できます。

ポイント対象の商品合計を全体設定のポイント単位で割った商が基礎ポイントになり、

基礎ポイントに、全体設定のポイント倍率と取引先のポイント倍率を乗算したものが、付与するポイントになります。

例えば、全体設定のポイント単位に100、ポイント倍率に5、取引先のポイント倍率に300%を設定すると、

ポイント対象の商品合計200円で30ポイント付与します。

※端数は切り捨てになります。

※付与したポイントは、固定合計器のみ値引き処理され、取引を精算した際に、ポイント残高に加算されます。

ポイント残高は、取引1のポイント使用で、置数がポイント残高から差し引かれ、

取引2のポイント（入金同様の扱い）で置数がポイント残高に加算されます。

ODBCリンクを使用していない場合、取引先設定で、コード、名称、ポイント残高、付与ポイントやポイント倍率が設定できます。

取引3の取引先で、取引先を挿入できます。

○旧バージョンからの更新内容

- ・全体設定に、ポイント単位とポイント倍率を追加しました。
- ・部門設定、PLU設定とODBCリンクの商品フィールドに、ポイント対象指定を追加しました。
- ・取引1設定にポイント使用（ファンクションコード：5、デフォルトキー：シフト+F4）を追加しました。
- ・取引2設定にポイント（ファンクションコード：29、デフォルトキー：シフト+F5）を追加しました。
- ・取引3設定に取引先（ファンクションコード：85、デフォルトキー：シフト+F11）を追加しました。
- ・取引先ファイルを追加しました。

■ 4. 予約や後会計の登録を随時追加登録や会計

電話等で注文を受けた際、予め注文内容を登録し予約を行うことで、商品引渡し時の会計がスムーズになります。

登録内容はファイルに保存し、保存したファイルを開くことで、随時追加訂正や会計が可能です。

ファイルの保存先にネットワークフォルダを指定することで、他の端末で登録された保存ファイルを、即座に会計できます。

オプション設定の「予約ファイル名」に、「任意指定」と、「02」、「20」～「29」の選択があり、処理が異なります。

・任意指定（デフォルト）

予約時に、保存するファイル名を入力または、既存のファイル名を選択するようになります。

登録内容に保存ファイル名を付加して印刷を行います。

デフォルトでは、会計後に保存したファイルは削除しますが、空のファイルを残すこともできます。

テーブル番号や常連客名を保存ファイル名にすると、空のファイルを残すことで、予約がよりスムーズになります。

・「02」、「20」～「29」

保存するファイル名が、選択した2文字と年月日時分のJANコードで自動生成され、登録内容にバーコードを付加して印刷を行います。

印刷されたバーコードをスキャンすることで、保存したファイルを開くことができます。

開いたファイルは、開くと同時に削除します。

※「レシートOFF」でも印刷を行います。

※選択した2文字が、PLUコードと重複しないようにする必要があります。

○旧バージョンからの更新内容

- ・取引3設定に予約（ファンクションコード：58、デフォルトキー：シフト+F12）を追加しました。
- ・登録の途中に、取引3設定のレシート発行（ファンクションコード：70、デフォルトキー：_）で、予約と印刷を行うようにしました。
- ・オプション設定に「予約ファイル名」を追加しました。
- ・オプション設定に「会計後に空のファイルを残す」を追加しました。
- ・オプション設定に「保存フォルダ」を追加しました。

■ 5. 登録内容の整理と登録後の個数変更

オプション設定の「取引を整理する」を選択すると、

同じPLUコード、同じ部門番号且つ同じ単価の登録を、1行にまとめることができます。

「訂正」（ファンクションコード：38、デフォルトキー：F9）は、訂正行を追加登録するのではなく、対象となる登録を削除します。

登録後の個数を、「X」（ファンクションコード：65、デフォルトキー：*）後の置数で変更できます。

続けて置数を入力するときは、「カーソル上/下」（ファンクションコード：50/51、デフォルトキー：UP/DOWN）を入力してから行います。

○旧バージョンからの更新内容

- ・オプション設定に「取引を整理する」を追加しました。

■ 6. カード決済端末に金額を送信

周辺機器設定の「カード決済端末を使用する」を選択すると、「信売」（ファンクションコード：3、デフォルトキー：F3）を行った際、

カード決済端末に売上/返品金額の送信を行う、確認メッセージが出るようになります。

※別途、カード決済端末の設定や、カード決済端末との接続ケーブルが必要です。

○旧バージョンからの更新内容

- ・周辺機器設定に「カード決済端末を使用する」を追加しました。
- ・周辺機器設定のカード決済端末設定に、「インターフェース」、「通信ポート」と「伝送速度」を追加しました。

■ 7. タッチパネル対応

オプション設定の「キーを表示」を選択すると、登録画面の上側にキーが表示され、タッチパネルやマウス操作で、主な取引が可能です。

また、ファンクションキーの参照（図7-1参照）としても利用できます。

キーは6列固定ですが、行の高さとキーの総数を設定できます。

キーの位置は、ファンクションキーレイアウトで、1桁の列番号と2桁の行番号で設定して下さい。

例) 左上隅：101、右上隅：601

イメージを表示したい場合は、イメージファイル名に「KEYxxx」（xxx：キーの位置）を使用して下さい。

例) 左上隅：KEY101、右上隅：KEY601

※イメージ表示ではファンクションの名称を非表示にでき、キーにファンクションキーを非表示にできます。（図7-2参照）

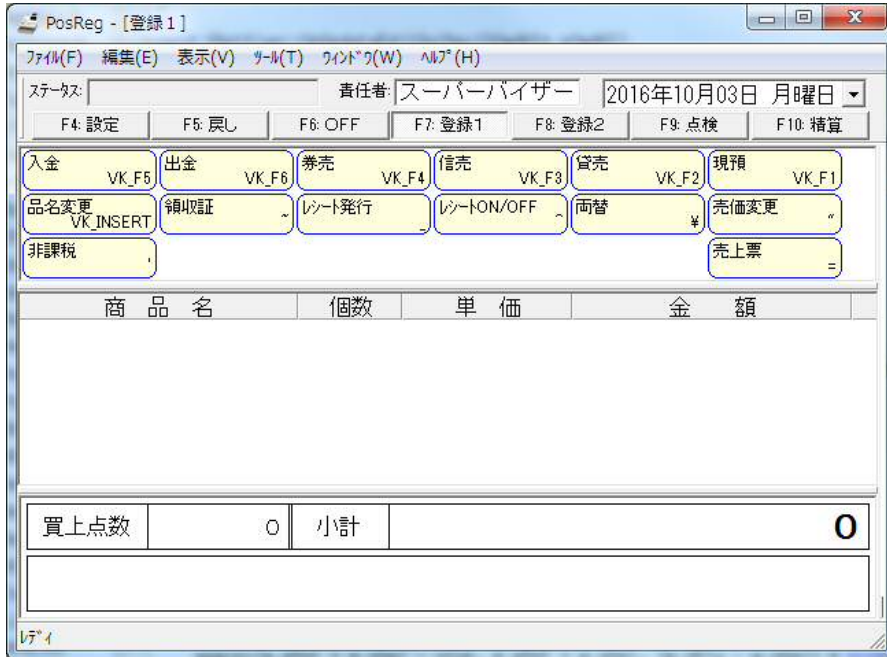


図7-1 ファンクションキーの参照例



図7-2 イメージ表示例

○旧バージョンからの更新内容

- ・オプション設定に「キーを表示」を追加しました。
- ・オプション設定のキー表示設定に、「キーの数」、「キーの高さ」、「イメージの表示ではファンクション名を表示しない」と、「キーにファンクションキーを表示しない」を追加しました。

■ 8. レシート用紙58mm幅のロールペーパーに対応

印刷書式設定の「1行に印刷できる最大文字数」で、35文字を選択すると、レシート用紙58mm幅のロールペーパーに収まります。

※35文字を選択すると、画面1行に対し、2行で印刷を行います。

○旧バージョンからの更新内容

- ・印刷書式設定の「1行に印刷できる最大文字数」に「35文字」を追加しました。

■ 9. サブディスプレイウインドウ（拡張画面）とエプソン社の特定のカスタマーディスプレイに対応

周辺機器設定のカスタマーディスプレイ設定で、サブディスプレイウインドウ、エプソン社の「DM-D30」や「DM-D110」を選択できます。

サブディスプレイウインドウは、複数のディスプレイを接続し、表示画面を拡張すると使用できます。

サブディスプレイウインドウと、「DM-D30」は、日本語に対応していますので、印刷用の商品名に日本語が使用できます。

※サブディスプレイウインドウは、イメージを表示できます。

イメージを表示したい場合は、イメージファイル名に「CDxxx」（xxx：切り替え順番）を使用して下さい。

登録中のイメージは「CD0」、待機中は「CD0」以外から順番にイメージを切り替えて表示します。

待機中のイメージ切り替え時間は、デフォルト5秒ですが、変更したいときは、イメージファイル名に「CDxxxSy」（y：秒数）を使用して下さい。

例）1番目5秒表示：CD1、3番目7秒表示：CD3S7

※「CD」で始まるイメージファイルは、インポートで縮小しませんので、サブディスプレイウインドウに合ったサイズを準備して下さい。

※「DM-D30」と「DM-D110」は、「EPSON Advanced Printer Driver for DM-D」にのみ対応しています。

※カスタマーディスプレイは、印刷用の商品名で表示します。

○旧バージョンからの更新内容

- ・周辺機器設定のカスタマーディスプレイの「デバイス名」に「サブディスプレイウインドウ」、「DM-D30」と「DM-D110」を追加しました。

■ 10. 部門、PLUや取引先のインポートと、部門、PLU、取引先やレシートのエクスポートに対応

CSV形式ファイルのインポートとエクスポートに対応し、部門、PLUや取引先を、エクセル等のアプリケーションで編集できます。

部門設定、PLU設定や取引先設定で、「ファイル」メニューから、「CSVのエクスポート」や「CSVをインポート」が行えます。

インポートする際、既存のレコードを全て削除できます。

削除しない場合、既存のレコードは、該当する列名の値のみ、上書きされます。

※部門とPLUは、部門精算やPLU精算を行っていないと、削除できません。

※インポートする際、1行目に列名が必要で、256列以内であれば、異なる列名は無視して、インポートを行います。

追加するレコードで、該当する列名のない場合は、空白または0になります。

レシートのエクスポートは、オプション設定の「レシートをCSV形式で保存する」を選択すると、

会計が終わる度に、指定したファイルに追加保存されます。

ファイル名には、現在日時を使用するための書式を指定できます。

・ファイル名の書式

%y：年、%m：月、%d：日、%H：時、%M：分、%S：秒、%%：%

例）日付毎に保存するファイルを変えたい場合、「TR%y%m%d.csv」を指定します。

○旧バージョンからの更新内容

- ・設定モードのファイルメニューに「CSVのエクスポート」と「CSVをインポート」を追加しました。
- ・オプション設定に「レシートをCSV形式で保存する」、「日時列を追加する」と、保存する「ファイル名」を追加しました。

□部門

部門の列名は、表示名、印刷名、部門番号、グループリンク、部門一覧選択、単価、入力桁制限、置数オーバーライド不可、内税指定、消費税非課税指定、特別地方税非課税指定、税率指定とポイント対象指定があります。
インポートする際、部門番号は必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・表示名・・・・・・・・・・・・・・・・・・24文字（全角12文字）以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・・・・・・・・・12文字（全角6文字）以下
- ・部門番号・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～999
- ・グループリンク・・・・・・・・・・・・・・・・1～999
- ・部門一覧選択・・・・・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・単価、入力桁制限・・・・・・・・・・・・0～10
- ・置数オーバーライド不可・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・内税指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・税率指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・0～3（0：基本消費税率、1～3：消費税率1～消費税率3）
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）

□PLU

PLUの列名は、表示名、印刷名、部門一覧選択表示順番、コード、部門リンク、単価、入力桁制限、置数オーバーライド不可、内税指定、消費税非課税指定、特別地方税非課税指定、税率指定とポイント対象指定があります。
インポートする際、コードは必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・表示名・・・・・・・・・・・・・・・・・・24文字（全角12文字）以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・・・・・・・・・12文字（全角6文字）以下
- ・部門一覧選択表示順番・・・・・・・・0～99
- ・コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・8/13文字のバーコード
- ・部門リンク・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～999
- ・単価、入力桁制限・・・・・・・・・・・・0～9
- ・置数オーバーライド不可・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・内税指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）
- ・税率指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・0～3（0：基本消費税率、1～3：消費税率1～消費税率3）
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・・・0/1（0：OFF/1：ON）

□取引先

取引先の列名は、コード、名称、ポイント残高、付与ポイントとポイント倍率があります。
インポートする際、コードは必須列名ですので、重複しないように指定して下さい。

- ・コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・13文字以下
- ・名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・32文字（全角16文字）以下
- ・ポイント残高・・・・・・・・・・・・0～999, 999, 999
- ・付与ポイント・・・・・・・・・・・・0～999, 999, 999
- ・ポイント倍率・・・・・・・・・・・・0～1, 000（100：1倍、300：3倍）

□レシート

レシートの列名は、日時、テーブルNo、レコードNo、表示名、印刷名、コード、サブコード、内税指定、消費税非課税指定、消費税免税指定、特別地方税非課税指定、税率指定、ポイント対象指定、数量、単価と金額があります。

※予約で保存するファイルの書式も同じですので、他のアプリケーションで作成したファイルを、予約で開くことが可能です。

- ・日時・・・・・・・・・・年／月／日 時：分：秒（オプション設定の「日時列を追加する」で追加可能）
- ・テーブルNo・・・・・・・・・・0～15（5、6と9は未使用）
- ・レコードNo・・・・・・・・・・0～4095
- ・表示名・・・・・・・・・・24文字（全角12文字）以下、テーブルNo.0のみ32文字（全角16文字）以下
- ・印刷名・・・・・・・・・・12文字（全角6文字）以下
- ・コード・・・・・・・・・・空白か、8／13文字のバーコード
- ・サブコード・・・・・・・・・・空白か、8／13文字のバーコード（2段値札でのみ使用）
- ・内税指定・・・・・・・・・・0／1（0：OFF／1：ON）
- ・消費税非課税指定・・・・・・・・・・0／1（0：OFF／1：ON）
- ・消費税免税指定・・・・・・・・・・0／1（0：OFF／1：ON）
- ・特別地方税非課税指定・・・・・・・・・・0／1（0：OFF／1：ON）
- ・税率指定・・・・・・・・・・0～3（0：基本消費税率、1～3：消費税率1～消費税率3）
- ・ポイント対象指定・・・・・・・・・・0／1（0：OFF／1：ON）
- ・数量・・・・・・・・・・0～999, 999
- ・単価・・・・・・・・・・0～999, 999, 999
- ・金額・・・・・・・・・・0～999, 999, 999

※精算を行うまでの金額合計が、999, 999, 999を超えると、固定合計器等の精算レポートが合わなくなります。

※使用していない列の値は、空白か0を指定します。

○テーブルNo.0

取引先の情報を指定します。

列名とテーブルNo.15（最終行）の次の行以外には指定できません。

その他使用する列は、表示名（名称）、コード、単価と金額のみです。

単価はポイント倍率を、金額はポイント残高を指定します。

○テーブルNo.1

部門やPLUの情報を指定します。

レコードNoは登録済みの部門番号（1～999）を指定します。

その他全ての列を、必要に応じて指定します。

○テーブルNo.2

締めキーファイル（取引1）の情報を指定します。

レコードNoはファンクションコード（1～5）を指定します。

その他の使用する列は、表示名、印刷名と金額のみです。

○テーブルNo.3

取引キーファイル（取引2）の情報を指定します。

レコードNoはファンクションコード（20～39）を指定します。

その他全ての列を、必要に応じて指定します。

○テーブルNo.4

合計器を持たないキーの情報を指定します。

レコードNoは次に示すものを指定します。

62：小計、75：客数

その他の使用する列は、小計が、表示名、印刷名、税関係の指定と金額で、客数が、表示名、印刷名と金額のみです。

○テーブルNo.7

固定合計器ファイルの情報を指定します。

点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.8

合計器を持たない機能の情報を指定します。

レコードNoは次に示すものを指定します。

0 : 小計、1 : サービス、2 : 釣、3 : 課税額、4 : 消費税、5 : 税込額、6 : 税含む、7 : 特地税、8 : 奉仕料、

10 : 税込免税額、11 : 税込免税額1、12 : 税込免税額2、13 : 税込免税額3、14 : 課税額1、15 : 課税額2、16 : 課税額3、

17 : 消費税1、18 : 消費税2、19 : 消費税3、47 : 税込額1、48 : 税込額2、49 : 税込額3、

50 : 税含む1、51 : 税含む2、52 : 税含む3、53 : 獲得ポイント、54 : ポイント残高

※一部のレコードNoは、点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

その他の使用する列は、特地税とポイント残高を除き、表示名、印刷名と金額のみです。

特地税は非課税指定が1 (ON) になり、ポイント残高は税関係の指定が加わります。

○テーブルNo.10

構成比を持つレポート項目の情報を指定します。

点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.11

構成比を持たないレポート項目の情報を指定します。

点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.12

レポートの情報を指定します。

点検や精算で使用するものですので、省かせていただきます。

○テーブルNo.13

罫線の情報を指定します。

使用できる列は、表示名と印刷名のみです。

○テーブルNo.14

空白の情報を指定します。

使用できる列はありません。

○テーブルNo.15

最終行 (担当者・日付・連番) の情報を指定します。

レコードNoは次に示すものを指定します。

192 : 精算、193 : 点検、194 : 登録1、195 : 登録2、197 : 戻し

表示名は、会計年月日時分を指定します。

印刷名は、担当者名 (印刷) を指定します。

コードは、ストア/マシンNoを指定します。

数量は、担当者番号を指定します。

単価は、レシートNoを指定します。

金額は会計金額を指定します。

その他の列は使用しません。

■ 1.1. その他の更新内容

1) ファンクションキー表示追加

取引中、「F11」と「F12」に割り当てた取引を表示できます。

2) 「ファイル」の「印刷書式」設定に項目を追加

- ・「標準フォント」と「横倍角フォント」に、レシートプリンタ専用フォント以外のフォントが使用できます。
※レシートプリンタ専用フォント以外のフォントを使用するときは、「標準フォント」と「横倍角フォント」は同じフォントを選択して下さい。
- ・「レシートのみ、画面と同じ商品名で印刷を行う」を追加し、レシートの商品情報を増やすことができます。
※画面の1行に対し、2行で印刷を行います。

3) 「ツール」に「オプション設定」を追加

- ・「取引先入力のコード欄を日本語入力モードにする」を追加し、コード入力を行う際の既定を、日本語入力にできます。
名称入力については、本設定に関係なく、既定を日本語入力に変更しました。
- ・「PLU選択に閉じるボタンを追加」を追加し、PLU選択画面に閉じるボタンを追加できます。
※当該設定にかかわらず、「F10」キーで閉じることができます。
- ・「部門一覧選択にファンクションキーを表示しない」を追加し、ファンクションキーを非表示にできます。
- ・「外税記号」と「内税記号」を追加し、表示/印刷で、取引の消費税への対応を区別できます。
デフォルトは、外税は空白で、内税が「x」です。
各文字は、1文字目：基本消費税率、2文字目：消費税率1、3文字目：消費税率2、4文字目：消費税率3に対応します。
- ・「消費税率の明細を表示/印刷する」を追加し、消費税率毎に課税額や消費税を表示/印刷できます。
デフォルトは、消費税率が異なっても、課税額や消費税は、合計したものを表示/印刷します。
- ・「外税取引での「値引き」の金額入力を内税で入力する」を追加し、外税取引での値引きを、内税で入力できます。
外税取引で取引金額の端数を値引きする際、端数を直接入力できますが、金額や税率によっては、誤差が生じる場合があります。
- ・「責任者選択でテンキーを表示し、テンキーボタンで表示/非表示を選択できるようにする」を追加し、設定を除き、ほとんどの通常業務を、タッチパネルやマウス操作のみで行うことが可能です。
「▲」ボタンと「▼」ボタンで、責任者を選択します。

4) 「ツール」の「通信ポート変更」を「周辺機器設定」に変更し、POSデバイス設定を削除しました。

5) 領収証発行の仕様変更

「領収証」取引を行った際に、「明細無し」、「上付明細」と「下付明細」の何れかを選択可能にしました。

また、「明細無し」を選択したときに、但し書きの挿入が可能です。

※但し書きは、レシート控えには残りません。

※レシート控えからも同様に、領収証発行が可能です。

6) ODBC接続で、マイクロソフトのExcelドライバーに対応しました。

サンプルフォルダに、Excelの参考ファイルと接続設定を追加しました。

7) 「設定」の「部門」に「F11:PLU」を追加

表示部門のPLU一覧を表示し、マウスの右ボタンクリックで表示順を変更できます。

・表示順を空ける

選択している商品の手前を空けます。

「図11-1」では、「こんにん」と「りんご」の間に空白を挿入します。

※先頭の商品を選択して空白を挿入することはできません。（「図11-1」では「ごぼう」）

・表示順を詰める

選択している商品の手前を詰めます。

「図11-2」では、「こんにん」と「りんご」の間の空白を詰めます。

・表示順を変える

選択している商品の「部門一覧選択表示順番」を変更します。

選択している商品を、ドラッグ&ドロップ（マウスの左ボタンを押下したまま、移動先でマウスの左ボタンを離すこと）でも変更できます。



図 1 1 - 1 PLU一覧表示例 1



図 1 1 - 2 PLU一覧表示例 2

■ 12. 追加サンプル

マイクロソフトのエクセルから、取引先と商品を参照する設定例を追加しました。

P o s R e g の P L U 設定や取引先設定を参照するのではなく、指定したエクセルファイルを参照します。

「ファイル」メニューの「データベースのリストア」で、インストールフォルダ（通常は、C:\Program Files\PATOK\PosReg）にある、「Samples」フォルダを開き、「八百屋.xls 参照).dbk」を選ぶと、同フォルダの「八百屋.xls」を参照するようになります。イメージファイルは、同「Samples」フォルダの「Image2」をインポートして下さい。

※P o s R e g より先に、「八百屋.xls」を開いていないと、エクセルで編集しながらP o s R e g での参照はできません。

※必要に応じて、シート（リンクテーブル）や列（リンクフィールド）を追加し、P o s R e g のテーブルとフィールドに割り当てして下さい。

○更新を許可する

更新を許可すると、商品の在庫管理や、取引先のポイント管理が可能になります。

「設定」の「ODBCリンク」のデータソース入力欄で、図12-1に示す通り、「ReadOnly」を探し、「1」を「0」に変更し、登録します。

※P o s R e g 起動中は、「八百屋.xls」を開くことができませんので、マイクロソフトのアクセス等、データベースソフトの使用を推奨します。

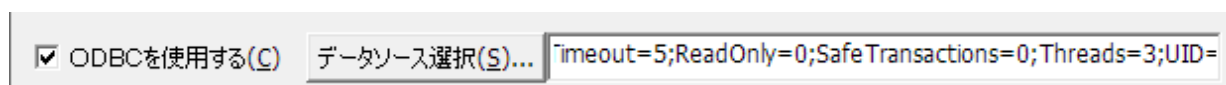


図12-1 更新を許可

○「八百屋.xls」を他のエクセルファイルに変更する

「設定」の「ODBCリンク」のデータソース入力欄で、図12-2に示す通り、「八百屋.xls」を探します。

使用したいエクセルファイルに、「DBQ=」から「八百屋.xls」までを、ファイルの場所と名前に変更し、登録します。

※最初は、「八百屋.xls」をコピーしたものを使用して下さい。

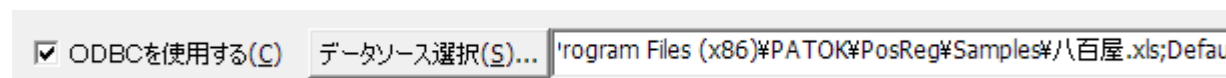


図12-2 エクセルのファイル名

PATOK
〒740-0018
山口県岩国市麻里布町4-14-24
松本無線パーツ株式会社岩国
TEL(0827)24-0081(代)